



資料編

1：横浜の緑に関する市民及び土地所有者意識調査の結果(概要)

2024(令和6)年度以降の緑施策を検討するにあたり、2022(令和4)年6月に横浜市民、市内に農地や樹林地を所有する方を対象として意識調査を実施しました。

●調査の対象

市民：5,000人
 (住民基本台帳の満18歳以上の市民から無作為抽出)
 樹林地所有者：4,407人(一筆500㎡以上の山林所有者)
 農地所有者：5,631人(1,000㎡以上の農地所有者)

●回収数(回収率)

市民：1,785票(35.7%)
 樹林地所有者：1,693票(38.4%)
 農地所有者：2,352票(41.8%)

●実施期間

2022(令和4)年6月13日(月)から28日(火)まで
 (7月15日までに到着したものを集計)

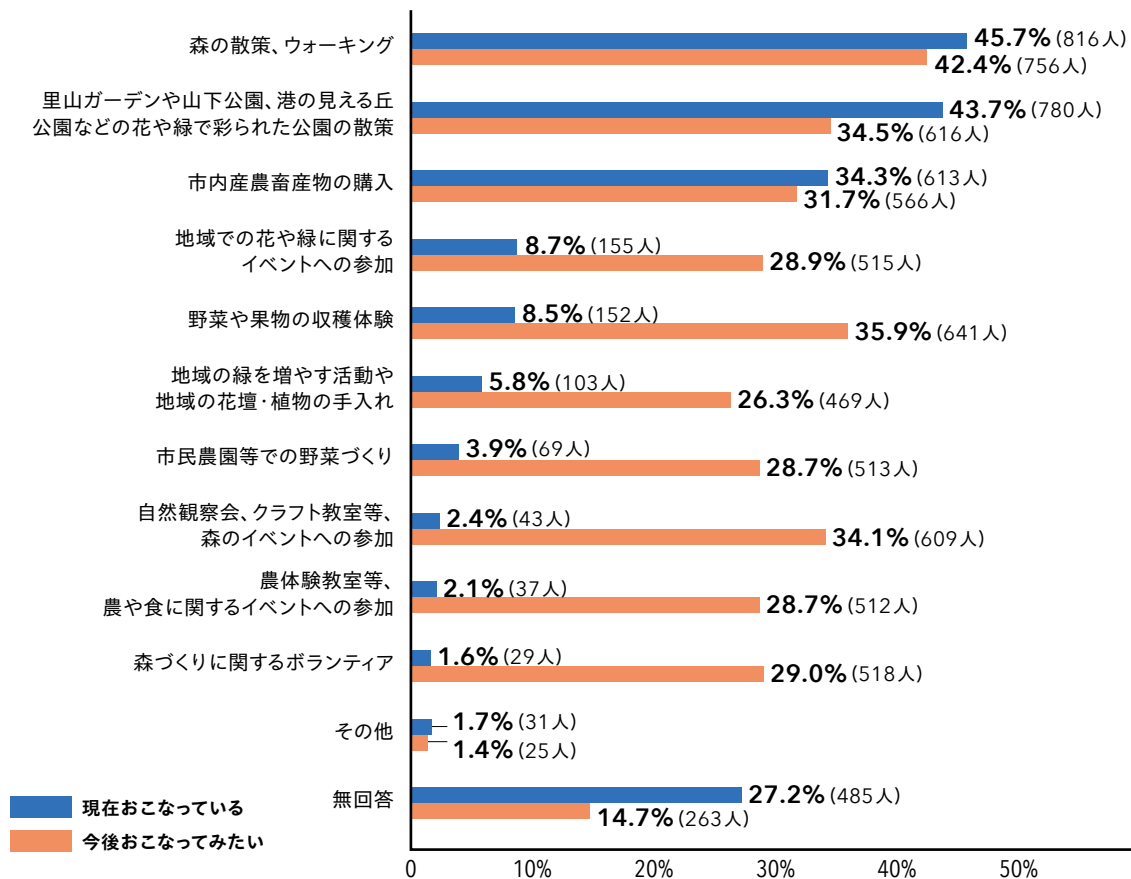
意識調査の結果は、市ホームページに掲載しています。

横浜緑の意識調査



●市民意識調査 設問例

森や農、まちなかの緑や花について「現在おこなっていること」「今後おこなってみたいこと」



2：これからの緑の取組 [2024-2028] (素案) に対する市民意見募集の結果 (概要)

横浜みどりアップ計画 [2024-2028] の策定に向け、素案に対して市民意見募集を行いました。

●実施方法

(1) アンケート方式

①個人：5,000人(住民基本台帳の満18歳以上の市民から無作為抽出)

②法人：5,000社(法人市民税課税台帳から無作為抽出)

(2) 公募型自由記述方式

素案の概要版パンフレットに添付のハガキ、Webフォーム、電子メール、FAX

●回収数(回収率)

(1) アンケート方式

①個人：1,281人(回収率25.6%)

②法人：939社(回収率18.8%)

(2) 公募型自由記述方式

43通(意見総数：93件)

●意見募集期間

2022(令和4)年12月23日(金)から

2023(令和5)年1月31日(火)まで

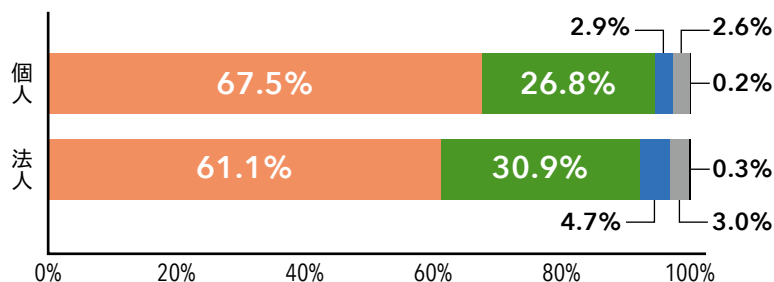
意見募集の結果は、市ホームページに掲載しています。

みどりアップ 2024-2028



取組について

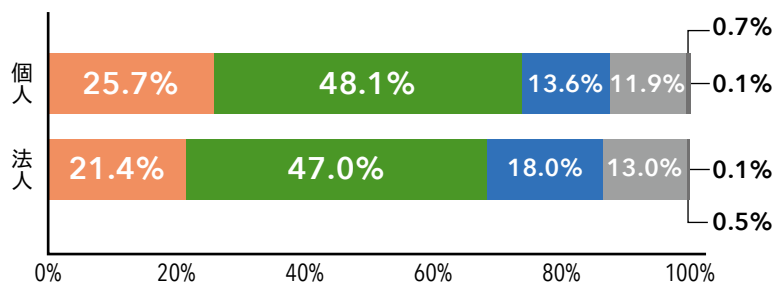
問1 2009(平成21)年度から進めている「横浜みどりアップ計画」の取組により、樹林地は減少傾向が鈍化している状況です。「これからの緑の取組」では、引き続き、貴重な緑を将来に残すとともに、新たに創出する取組を進めようとしています。このことについてどう思いますか。



■ 積極的に取り組む必要がある
 ■ どちらかと言えば取り組む必要がある
 ■ どちらかと言えば取り組む必要がない
 ■ 取り組む必要がない
 ■ 無回答

取組に必要な財源について

問7 「これからの緑の取組」に掲げた緑を保全・創出し、未来に引き継いでいくための施策を実施するためには、安定した財源が必要となります。その財源の一部を、横浜みどり税のように、市民が負担することについて、どう思いますか。



■ 積極的に負担する必要がある
 ■ どちらかと言えば負担する必要がある
 ■ どちらかと言えば負担する必要がない
 ■ 負担する必要がない
 ■ 無回答
 無効回答